

赤城山

復刊版



群馬地域文化振興会

赤城山

岩澤正作著

序

吾友岩澤君者博物學者也、研究赤城山有年於茲、攀登前後六十餘回、是以全土之地質、湖沼之組成、動植物之分布、推理探實、研鑽考究之結果、其稿積而爲堆、頃日以公務之暇、輯訂整理、附以山麓之名所舊蹟、交通產物之要、詳密無所不至可謂要書也矣。欲知赤城山及其附近者好伴侶也、將公于世、携稿來需一言乃序其略云爾

大正五年九月

私立共立普通學校長 井上浦造

序

岩澤君は僕の畏友である。君は僕の自然科学研究の親友である。君は僕と共に赤城山登山の別懇の友である。君が自然界の研究に興味を有し、常に之が研究に餘念なきのみならず、君が書齋には珍らしき、而かも完全なる動植物、礦物、化石等の採集物が陳列され、分類せられあることは吾等同好の輩が常に羨望して止まざる所である。君が友人は常に君の書齋を一小宇宙と唱へ、此處に採集に出掛くることも亦珍らしからぬのである。君は又喜んで友人の採集を許すのである。以て君の人格の一端を窺ふ事が出来る。

君は既に赤城に六十餘回攀登、研究を遂げたりと云ふ。君が赤城山に精通する故ありと云ふべきである。

斯く赤城山に精通する君が今回赤城山を中心となし、山麓諸地方に及べる、自然界の現象、竝に人事的現象を記載したる本書を刊行するは誠に斯道のため一快事である。一日君僕に書を寄せて曰く、「序文を書せ」と僕、元來文を草するの禮と、法とを知らず然れども君とは諸種の關係上辭することを得ず、依て聊か所思を述べて、以て、序文に代ふ。

大正五年九月

群馬縣立藤岡中學校長

長澤開右衛門

序

上毛之地、民物殷阜、山川亦富勝槩矣。然至于動植么微之物、山嶽深穩之境、未悉知於世。若無人唱道之、則有永久隱晦不顯之者、爲可憾焉耳。我岩澤君、精博物之識、富濟勝之具、多年特研究赤城山竝其山麓地方、其如赤城、攀登逮于七十回、可謂黽焉。此間所穫、于礦物、于植物、于動物、將于關民生事類等、隨得隨錄、哀然爲卷冊。乃今欲刊行以傳之於江湖、爲來屬序余。君嘗奉職于我校、誼不可辭。又多沒嚮者隱晦不顯之憾也、一言以題之卷首。

大正五年九月下澣

群馬縣立高崎中學校長 村田稔亮

序

岩澤正作君、人ヲ介シテ自著「赤城山」ノ序文ヲ予ニ需メラル。君ハ曾テ、我が前橋中學校ニ在リテ教鞭ヲ執ラル、コト約三年間ニシテ、博物學科ヲ擔當セラレシコトアリ。其ノ後職ヲ退キ、爾來赤城山麓ニ住シテ今ニ至ルマデ登山セラレシコト幾十回ナリシヲ知ラズト云フ。其ノ學術研究ニ熱心ナルコト此ノ如ク、隨テ、該山ノ地理、物産ニ精通セラル、コト知ルベシ。而シテ、此ノ著アルハ蓋シ、偶然ニアラザルナリ。故ニ、予ハ未ダ、君ト相會スルノ機ヲ得ズ、又該書ノ内容ヲ詳ニセズト雖モ、君ノ來歴ニ徵ス

ルトキハ、必ズヤ登山者ノタメニ最好ノ伴侶タルベキヲ疑ハザル
ナリ。聊カ一言ヲ記シテ以テ、君ノ需メニ應フト云爾。

大正五年十月

前橋中學校ノ一室ニテ

鳴

東

海

序

上州赤城山は天下の雄景。登山には聊か草臥れるが草臥れるだけの効能は慥にある。知名の諸博士に診て貰ふと高い診察料をとられる、が誤診が尠い、金だけの値打がある。赤城山も草臥れるだけの値打はある、決して「ポル」のではない。

然るに俚語に『赤城山へ一度行かぬ馬鹿、二度行く馬鹿』と云ふ。蓋し案内も無く何等豫備智識も無くて行くから二度目はイヤになるのである。もし適当な案内者と、指導者とあらば此の位面白い山はまたと無い。岩澤先生の著書はこの兩者を兼ねたもの即

ち先生自身であると云へる。

岩澤先生は赤城に登山する事六十餘回、天下是れ以上の良案内者は無からう。先生は地質、山草の研究家、先生以上の智識は尠い。赤城の一樹一草、何物に就て質問するも先生曾て「I don't know」と云ふた事がない、以て其著の價值を知るべきである。

苟しくも、股間に一物を有する程の者は何をおいても赤城山に登らねばならぬ。僕は大好きなこの大自然を紹介して下さる岩澤先生の勞を感謝せずには居られない。

大正五年九月

上州新報編輯局にて

高 橋 天 紅

赤城山目次

一、緒言 …………… 一頁

一、總説 …………… 四

位置、成因及變遷。

一、河川 …………… 一四

一、水源を赤城火山外に發するもの

利根川、片品川、根利川、渡良瀬川。

二、水源を火口内に發し、火口瀨を流るゝもの

沼尾川、粕川、白川。

三、輻射谷に發源するもの

小黑川、深澤川、荒砥川。

- 一、山 嶽……………一九
- 黒檜山、駒ヶ岳、小黒檜山、神厩山、荒山、鍋割山、鈴ヶ岳、長七郎山。
- 一、峠……………三三
- 鳥居峠、茶の木畑峠、躑躅ヶ峯、牛石峯、新坂峠、鉄柄峠、野坂峠、五輪峠。
- 一、原 野（火口原）……………三五
- 新坂愛宕、小沼平、覺満淵。
- 一、湖 沼……………三六
- 赤城湖（大沼）、小沼、血の池。
- 一、山上の遊覽地……………四一
- 大洞、沼尻、地獄谷、三途の川、賽の河原、幸麴の瀧、銚子の伽藍、湯澤、籠山、番小屋平、赤城神社、里宮。

水沼宿、深澤城址、桐生塚、正圓寺、貴船神社、神明森。

一、東南地方

大間々町、郷社神明宮、道了堂、光榮寺、世音寺、大間々公園、高津戸橋、伊勢ヶ淵、羽根瀧、白糸の瀧、獅子岩、勢山瀧、桐原の古墳、桐原櫻の碑、要害山、十山亭碑銘、高津戸古橋、高津戸古橋の碑銘、永明、仁田山壘址、赤萩城址、谷山岩、白瀧神社。
 桐生町、桐生城址、天満宮、美和神社、淨運寺、光明寺、青蓮寺、丸山公園、桐生ヶ丘公園、鳳仙寺、西方寺、笠懸野、阿佐美沼、國瑞寺、岡登用水堀、善昌寺、お角櫻、お懸櫻。

二、南麓地方

山上城址、山上五郎高綱の古墳、山上の石室、念佛橋の碑銘、膳城址、膳城の素肌攻、金剛寺、瀧澤不動堂、瀧澤瀑布、胎内潜り、人穴、御嶽山、大通龍、小通龍、籠岩、苗ヶ島古城址、縣社赤城神社、横石、空宮、二宮赤城明神、産泰神社、大室の古墳。
 大胡町、多胡城址。

伊勢崎町、華藏寺公園、華藏寺。

一、西南地方 一五六

前橋市、前橋城跡、武德殿、前橋公園、臨江閣、岩神飛石、鎌子山、天野の藤、八幡宮、神明宮、小石神社、龍海院、孝顯寺、妙安寺、大連寺、橋林寺。

高崎市、高崎城跡、高崎公園、英靈殿、賴政神社、高崎神社、神武天皇遙拜所、大信寺、安國寺、興禪寺。

一、西北地方 一七一

澁川町、眞光寺、橘山、木曾神社、八崎、不動山城跡、棚下、不動瀑。

沼田町、沼田城跡。

一、附 錄 一七七

赤城山植物目錄。